

# 山形海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況 最終公表

番号	区分	推薦を受けた者(被候補者)又は応募者						推薦した者(推薦者)					推薦又は応募理由	
		氏名	年齢	性別	職業	主な経歴	漁業経営状況		団体等名称	代表者職 氏名	団体等の目的	構成員		
							漁業従事日数(日/年)	経験年数(年)				構成員の数		構成員たる資格
1	漁業者	鈴木 重作	70	男	はえ縄漁業	昭和47年4月～ 沖合漁業従事 昭和55年～ 本県沿岸漁業就業 平成8年4月～山形県漁協 総代 平成22年～平成30年 庄内おぼこサワラブランド推進協議会 会長	250	49	山形県漁業協同組合	代表理事組合長 本間 昭志	組合が行う事業によって、その組合員のために直接の奉仕をすることを目的とする。	1,001	水産業協同組合法による	当組合総代及び漁業者団体の役職を歴任し、地区並びに県内において人望が厚く、推薦したい。 ・2019年黄綬褒章(春)
2	漁業者	伊原 光臣	70	男	はえ縄漁業	昭和48年3月～平成14年2月 東北無線工業(株)(現(株)アライドテック) 平成11年4月～平成23年4月 山形県漁協 総代 平成14年3月～ 本県沿岸漁業就業 平成20年2月～平成24年1月 山形県漁協青壮年部連絡協議会 会長 平成23年6月～ 山形県漁協 理事 平成24年8月～ 山形海区漁業調整委員会 委員 平成26年6月～ 全国広域漁船保険組合(現 日本漁船保険組合) 山形県支所 運営委員長	250	23	山形県漁業協同組合	代表理事組合長 本間 昭志	組合が行う事業によって、その組合員のために直接の奉仕をすることを目的とする。	1,001	水産業協同組合法による	当組合総代及び理事等の役職を歴任し、地区並びに県内において人望が厚く、推薦したい。 ・2018年度(第33回)漁協運動功労者表彰
3	漁業者	飯塚 厚司	75	男	小型底曳網漁業	昭和45年4月～昭和54年3月 横浜トヨペット(株) 昭和54年4月～ 本県漁業就業 平成17年4月～ 山形県漁協 総代 平成20年～平成28年 念珠開発動機船船主会 会長 平成22年～平成26年 山形県水難救済会念珠関救難所長 平成29年6月～ 山形県水難救済会 会長 平成29年6月～ 山形県漁協 理事	250	45	山形県漁業協同組合	代表理事組合長 本間 昭志	組合が行う事業によって、その組合員のために直接の奉仕をすることを目的とする。	1,001	水産業協同組合法による	当組合総代及び理事等の役職を歴任し、地区並びに県内において人望が厚く、推薦したい。
4	漁業者	田代 善幸	62	男	小型底曳網漁業	昭和57年4月～ 本県沿岸漁業就業 平成11年4月～令和2年5月 山形県漁協 総代 令和2年6月～ 山形県漁協 理事 令和5年6月～ 全国合同共済組合山形県事務所長	250	42	山形県漁業協同組合	代表理事組合長 本間 昭志	組合が行う事業によって、その組合員のために直接の奉仕をすることを目的とする。	1,001	水産業協同組合法による	当組合総代及び理事等の役職を歴任し、地区並びに県内において人望が厚く、推薦したい。
5	漁業者	本間 金弥	44	男	はえ縄漁業	平成12年4月～ 本県沿岸漁業就業 令和3年1月～ 大瀬鯛縄協議会 会長	250	24	山形県漁業協同組合	代表理事組合長 本間 昭志	組合が行う事業によって、その組合員のために直接の奉仕をすることを目的とする。	1,001	水産業協同組合法による	漁業者団体の役職を歴任し、地区並びに県内において人望が厚く、推薦したい。 ・2014年庄内地域農林水産業若者賞

6	漁業者	齋藤 守	62	男	小型底曳網漁業	昭和57年4月～ 本県沿岸漁業就業 平成元年～平成20年 青年漁業士 平成14年4月～ 山形県漁協 総代 平成20年～ 指導漁業士(平成28年～令和3年 指導漁業士会長)	250	42	山形県漁業協同組合	代表理事組合長 本間 昭志	組合が行う事業によって、その組合員のために直接の奉仕をすることを目的とする。	1,001	水産業協同組合法による	当組合総代の役職を歴任し、地区並びに県内において人望が厚く、推薦したい。 ・2019年山形県水産業賞
7	学識経験	加藤 栄	68	男	弁護士	昭和57年4月 山形県弁護士会弁護士登録 昭和59年～ 山形県漁業協同組合 顧問 昭和60年10月～ 全国漁業信用基金協会 顧問 平成12年8月～ 山形海区漁業調整委員会 委員 平成18年4月～ 酒田小型船舶安全協会 顧問 平成24年8月～ 山形海区漁業調整委員会 会長	-	-	山形県弁護士会	会長 金山 裕之	弁護士法第31条第1項による	101	弁護士	弁護士としての経験も豊富で、漁業についての見識もあり、適任であると思料されるため。2012年より現在まで10年以上にわたり、自身のすべての漁獲物について年月日、採捕場所、魚種、尾数をすべて記録し、庄内浜について魚種の変動や資源量の推移を、自らの体験に基づいて把握している。
8	学識経験	佐藤 一道	54	男	潜水士	平成14年6月～平成26年4月 セカンドリーフ(潜水士)代表 平成26年4月～ セカンドリーフ株式会社 代表取締役 平成21年7月～ 特定非営利活動法人パートナーシップオフィス 理事就任 平成24年8月～平成28年8月 第20期山形海区漁業調整委員会 委員 平成28年8月～令和3年3月 第21期山形海区漁業調整委員会 委員 令和3年4月～ 第22期山形海区漁業調整委員会 委員	-	-	特定非営利活動法人 パートナーシップ オフィス	理事長 西村 修	広く地域や分野を超え、市民、行政、研究者、企業等と連携、協働しながら、地域社会がかかえる社会的な課題の改善に向けた、それぞれの主体的な活動を支援、促進し、多様で自立した社会の実現に寄与することを目的とする。	理事9名 会員12名 計21名	会の目的に賛同する意思確認のほか特に条件を定めない。	海洋生物調査・研究および海洋資源保全・増殖事業に取り組む潜水士は国内でも数少なく専門性が高い。 潜水業務を行うにあたり漁業者との連絡調整を欠かすことなく行い実績も多く県内漁業の実態把握に精通している。 理事として、15年以上とともに海洋問題に取り組んでいる。
9	学識経験	樋口 恵佳	36	女	東北公益文科大学 公益学部 准教授	平成28年4月～平成29年8月 東北大学 法学研究科 特任フェロー 平成28年6月～平成29年8月 笹川平和財団 海洋政策研究所 研究員 平成29年9月～令和3年3月 東北公益文科大学 講師 令和5年5月～令和6年3月 内閣府 総合海洋政策推進事務局 参事官補佐 令和3年4月 東北公益文科大学 准教授	-	-	学校法人 東北公益 文科大学	理事長 新田 嘉一	教育 研究 社会貢献	89	公益学部 准教授	令和4年度より本委員を務めており継続の意向であるため、引き続き推薦候補者としてご推薦させていただきます。 海洋法を専門とし、漁業規制や海洋汚染等の諸問題に精通していることから、本委員会の目的達成に十分貢献するものと考えます。
10	学識経験	和田 光子	70	女	自営業	昭和53年10月～ 漁業経営・民宿経営に携わる 平成24年～ 県漁協女性部由良支部加入 平成29年1月～ 県漁協女性部由良支部長就任 令和2年3月～ 県漁協女性部長就任 令和3年2月～ 山形県農業・農村政策審議会委員	-	-	由良地域協議会「ゆ らまちっく戦略会議」	会長 齋藤勝三	むらづくり活動	7団体	-	和田光子氏は、長年の漁家経営と山形県漁協女性部長としての経験から、庄内浜の漁業に関する豊富な知識を持っています。40年以上の民宿経営経験も有し、資源管理や漁業経営について深い理解があります。浜の変遷を直接経験した女性の視点を委員会に反映できる点も重要です。実践的経験に基づく知見は、「資源管理及び漁業経営等に関する学識経験を有する者」という条件に合致し、委員として適任と考えられるためです。
11	中立	本間 優子	64	女	団体職員	昭和58年4月～ 飽海郡八幡町役場勤務 平成17年11月～ 酒田市役所勤務(市町村合併) (平成28年4月～平成31年3月 酒田市農林水産課長) 令和3年4月～ 酒田会計年度任用職員 令和3年7月～ 公益財団法人さかた文化財団 土門拳記念館 事務局次長 現在に至る	-	-	酒田市	酒田市長 矢口 明子	-	-	-	本間優子氏は、旧八幡町役場に勤務以後、市町村合併により酒田市役所職員として活躍し、行政経験も豊富である。特に平成28年4月から3年間、酒田市農林水産課長として水産行政の運営を担ってきた経緯があります。豊富な行政経験を活かし、水産行政の発展に寄与してきたこと、また、山形海区内における漁業に関して利害関係を有していないことから、中立委員として適任であり、推薦するものです。